

平成27年4月22日
東北森林管理局

「ニホンジカ影響調査・簡易チェックシート調査」
平成26年度調査結果について

東北森林管理局では、ニホンジカによる農林業被害対策を講じるための基礎資料として、平成26年度から生息域や自然植生への影響等についてのチェックシート調査に取り組んでいます。

この度、平成26年度の調査結果について、下記のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします。当該データにつきましては、被害対策や研究等の目的でご自由にお使いいただけます。また、調査の主要項目をグーグルアース（©Google Earth）上で閲覧できるデータも併せて公開いたします。

なお、当該調査は今後も継続して取り組むこととしております。

記

1 調査の概要

（1）調査期間：自）平成26年4月（岩手県）、平成26年6月（岩手県以外）
至）平成27年3月末 ※今回公開分。調査は継続実施中。

（2）調査区域：東北森林管理局管内国有林

（3）調査方法等：別紙実施要領（抜粋）のとおり

2 調査結果

URL：http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/press/hozen/270422_h26sika.html

<内容>

（資料1）平成26年度調査結果の概要について

（資料2）調査集計表

（資料3）グーグルアース（©Google Earth）表示用ファイル

※ご利用にはソフトのインストールが必要です（無償）。

（参考1）簡易チェックシート様式

（参考2）「グーグルアース（©Google Earth）を利用したニホンジカ簡易チェックシート調査結果の表示」操作説明書

担当：東北森林管理局 保全課 保護係長

〒010-8550 秋田県秋田市中通五丁目9-16

TEL018-836-2231（直通）

別 紙

ニホンジカ影響調査・簡易チェックシート調査実施要領（抜粋）

第2 調査の要領

1 調査区域

東北森林管理局管内国有林とする。

2 調査地点

任意とするが、林道、採草放牧地の周辺などでの定点調査に努めるものとする。

3 調査時期

消雪後から降雪時までとするが、冬期間の生息地、被害及び影響についても把握が必要なことから、降雪期についても調査に努めるものとする。

4 調査頻度

任意とし、現場業務等の際に実施する。また生息痕跡及び被害が確認されない場合も調査を実施する。

なお、定点を設定した場合には月1回程度の頻度とする。

5 調査者

森林官及び署等職員とする。なお、請負事業体、猟友会等に協力依頼をすることが出来るものとする。

6 調査項目

別添「ニホンジカ影響調査・簡易チェックシート」による。